

令和6年度 こども若者★いけんぷらす

「あなたにとって化学物質はどんなもの？ ～環境問題と化学物質について考える～」

アンケート調査結果（いけんのまとめ）

○調査概要

(1)調査テーマ

- あなたにとって化学物質はどんなもの？ ～環境問題と化学物質について考える～

(2)調査対象

- 小学4年生以上のぷらすメンバー

(3)回収状況

- 回答数:88 件

(4)調査方法

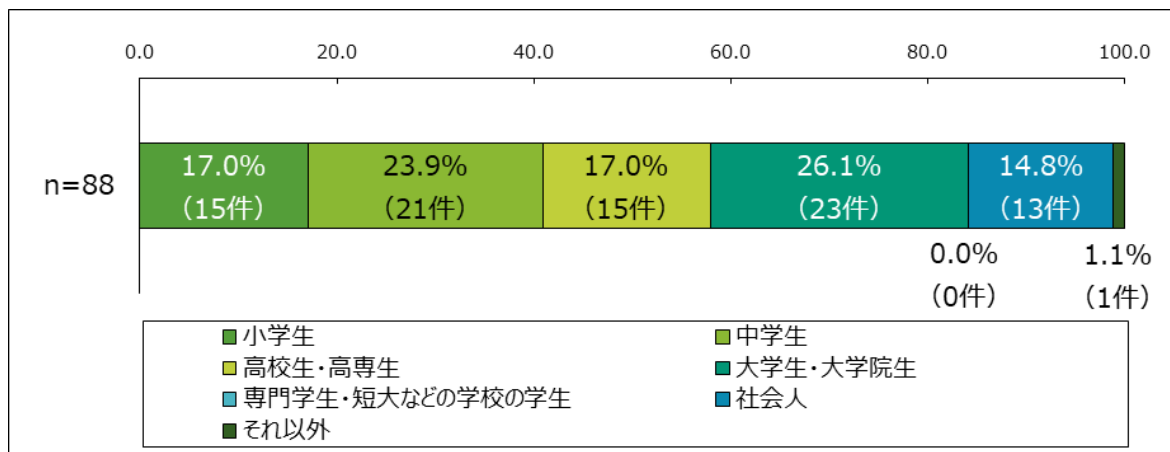
- WEB アンケート調査

(5)調査期間

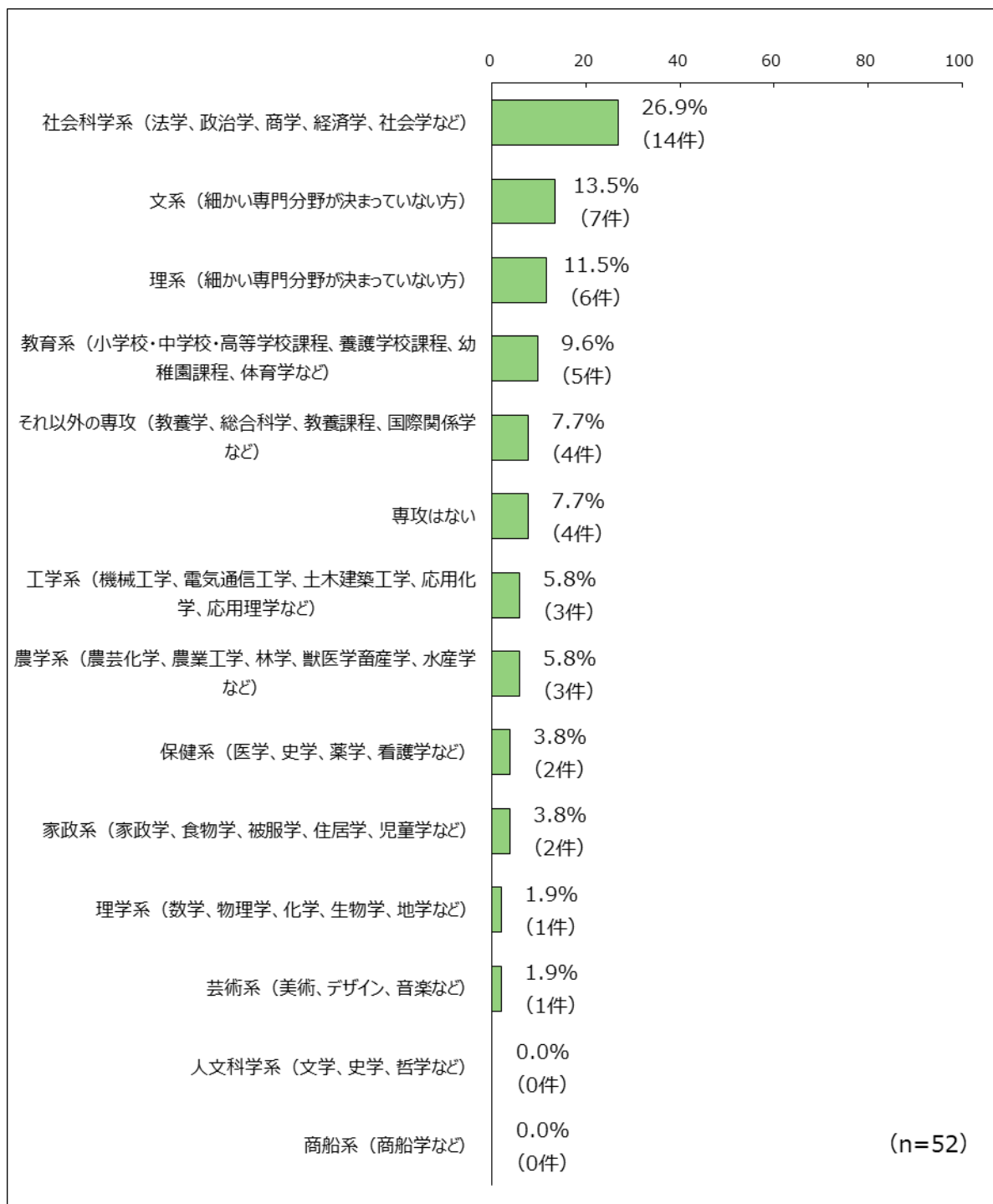
- 令和6年 11 月 18 日(月)～12 月 11 日(水)

○調査結果

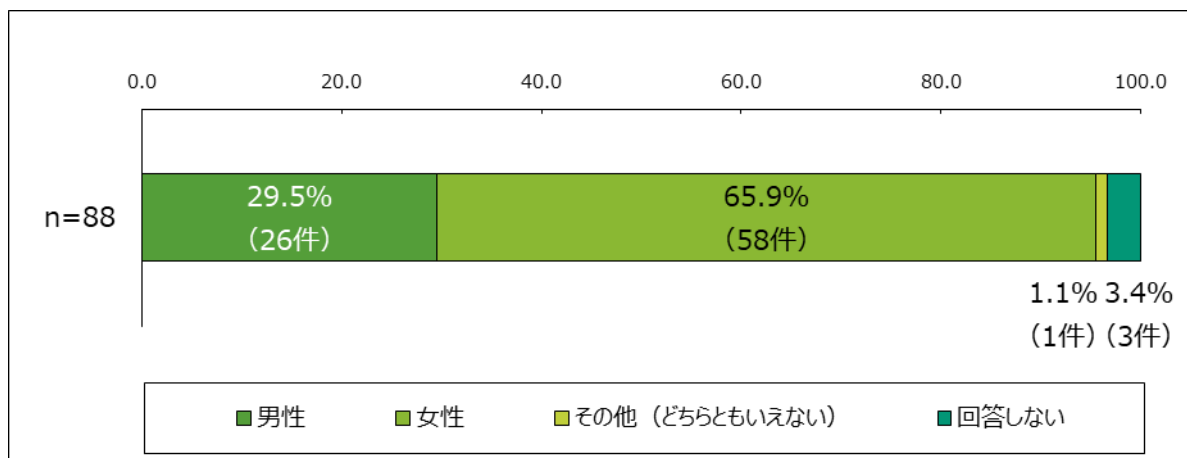
Q1. あなたは次のうちどれに当てはまりますか。(令和6年12月1日時点)(単数回答)



Q2. (Q1 で「高校生・高専生」以上の年代、または「それ以外」と回答した方のみ)専門分野(理系・文系・〇〇学専攻など)でいちばん当てはまるものを選んでください。
 現在、学生でない方は、最終学歴でいちばん当てはまるものを選んでください。文系・理系の中で細かい専門分野は決まっていないという方は「文系」か「理系」を選んでください。まだ専攻が決まっていない方は「専攻はない」を選んでください。(単数回答)



Q3. あなたの性別を教えてください。(単数回答)



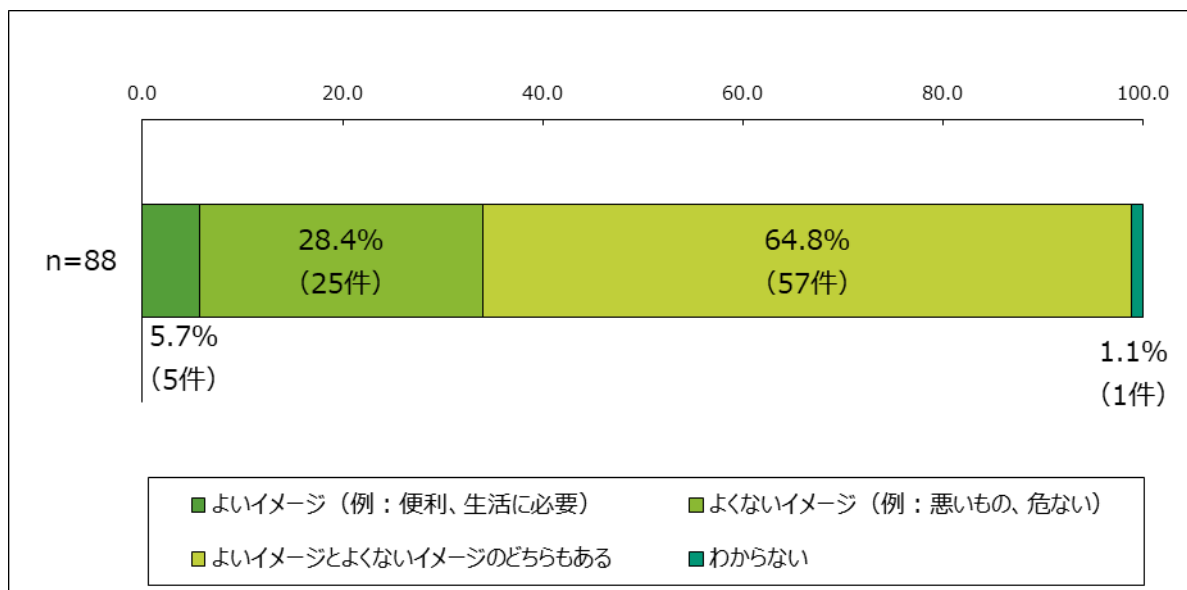
Q4. あなたの身の回りで化学物質が使われているものには何があると思いますか。(自由記述)

- 身のまわりほとんどのもの
- あらゆるもの
- 全部
- 全てのもの
- 身の回りにあるほぼ全てのもの。特に液状のもの。
- 住宅(建築資材)、食品全般、自動車など乗り物、プラスチック、医療機器、薬品
- 洗剤…というか工業製品とか大体全部
- 水道水、シャンプー、漂白剤、洗剤、柔軟剤、目薬、芳香剤、整髪料、カラーリング剤、お弁当、おにぎり、壁紙、フライパン、消火剤
- 日常的に活用してる物、食品添加物、ヒーター(ガスを使うもの)、掃除用品、授業で使う薬品、MRI、CT、X線検査等の検査機器
- 食器や洋服を洗う洗剤
- 洗剤、ペットボトル、服、ガソリン、プラスチック
- 食器用洗剤、洗濯用洗剤、殺虫剤
- 石灰、コンクリート、プラスチック、自動車の排ガス、栄養剤、服(化学繊維とか)etc.
- 洗剤、薬品、素材、機械
- 食器用洗剤、洗濯洗剤、柔軟剤、農薬
- 洗濯用洗剤とか、シャンプーなど
- 洗剤、加工食品、化学繊維、商品パッケージ
- 洗剤など
- 洗濯用洗剤、柔軟剤、服

- 石鹼 薬 粘土 おもちゃ ツルツルした布
- 漂白剤 ボンド 乾燥剤 ホッカイロ
- 洗剤・石油製品
- 洗剤、車、薬、塗料、殺虫剤
- 洗剤、食品、衣服
- 洗剤、化粧品、農薬、薬品、食品添加物、
- たくさんありすぎるが、たとえば洗濯洗剤など。
- 掃除用の漂白剤
- プラスチック、洗剤
- 界面活性剤、着色料、保存料
- 洗剤、プラスチック、酒
- 洗剤(6件)
- 柔軟剤(2件)
- ペットボトル、農薬、洗剤
- ペットボトル、服、洗剤、加工食品等
- プラスチック、食べ物、飲み物、住居
- ビニール袋、ペットボトル
- ワセリン プラスチック 科学洗剤
- ペットボトル、洗剤、ライト、ティッシュ、ビニール袋、かご、服、ボールペン
- プラスチック製品などの人工物
- プラスチック(3件)
- 食品添加物、農薬、プラスチック系、紙
- 調味料、洗剤、工業製品、家具、医薬品
- 見た目がきれいなお菓子。
- 食品、塗装
- 食品、洗剤など
- 食べ物
- コンビニのご飯
- 食品の保存料や家具の表面のコーティングなど
- 食べもの、農薬、薬、洗剤、柔軟剤
- 加工食品の保存
- コンビニの弁当
- 添加物 洗剤
- 洋服、建物、食べ物など、、
- 衣服。食品。
- 服、プラスチック、農薬、化粧品、殺虫剤

- 服、プラスチック製品
- 洋服、食品
- 衣料品、薬
- 家具・家電、食品
- 掃除機、服
- 家庭用機器(エアコン、冷蔵庫など)、ビニール袋、食品
- 電子レンジ スマホ テレビ、電気製品
- 薬、石鹼、実験用具、家電製品など
- 薬。塗料。本。洗剤。工場。
- 医薬品、検査薬など医療現場のもの
- 薬
- 化粧品、医薬品
- 化粧品、食品、除草剤
- 化粧品
- 化粧品、衣類、プラスチック
- 肥料、農薬など
- 化学肥料・農薬・薬・洗剤・せっけん・シャンプー・リンス
- 車
- 水道水
- 炭素
- 水
- 水素
- 海
- わからない(2件。類似する記述を含む)

Q5. あなたは「化学物質」と聞いてどんなイメージを持ちますか。(単数回答)



Q6. Q5 でそう答えた理由を教えてください。化学物質に対して具体的に持っているイメージや、あなたがそう感じるようになったきっかけがあれば教えてください。(自由記述)

【「よいイメージ」と回答した方】

- 便利で生活が豊かになるから。
- 安全で便利だから
- 化学物質がなければ生活できないから
- 洗濯洗剤でいえば、頑固な汚れが簡単に落ちるから。
- 天然かなと感じた

【「よくないイメージ」と回答した方】

- 洗剤による水質汚染がひどいと、環境問題を取り上げたテレビ番組で見たから
- 体に害があるイメージがある。学校で公害の勉強をしたときに、化学物質が原因だと聞いたから。最近話題になった薬から本来は害はないのに、組み合わせによって病気が発生したニュースを見たから。
- 公害について小学生の頃から学んだことをきっかけに化学物質は危ないという印象があります。また昨今の PFAS 問題もです。また、原爆なども爆薬も化学物質であることから、原子力や原子力発電所の事故も悪いイメージをもつ要因になっていると思います。
- 原子力発電所の事故や水道水に有害なフッ素が混ざっているなどのニュースを見たことがきっかけです。
- 爆発とか
- 体に悪い 環境に悪い 便利

- 商品の品質を安定させるものや、使用・消費期限を延長されるため添加するもののイメージ。長期間使用すると蓄積され、身体に害をもたらすイメージ。
- 危なそう
- アレルギー、肌荒れ、危ないとかいてあるから
- 発がん性のある化学物質を聞いたことがある。
- 化学物質過敏症など、体調に悪影響が出ている事例を聞いたから。公害問題など、かつて大きな健康被害をもたらしていたから。
- 癌になるなど体に溜まることで悪影響を及ぼす。添加物は発がん性があるものがあると聞いたことがあるから。
- 環境に悪そうと思っている
- 体に悪いだけでなく環境にも悪いイメージがあるから。
- 保健体育でよくないと教わった
- 塩素ガスとか有毒・有害なイメージがあるから
- 授業でやったときに、悪いイメージをもった(先生が教える時に悪いものであると強調しているように感じた)
- 口に入れるものや体に触れるものは健康に直結するから
- 化学物質が身体の中にたくさん入ることで、身体に悪い影響が出るというニュースを見たことがあるから。
- 化学物質には悪いイメージがあります。化学物質というのは身体に悪影響を及ぼすとよく聞くからです。
- 化学物質によって便利になることは数多くあるが、それによって人体に悪影響を及ぼすことも多く、認知症になりやすくなったり発がん性があったりするなど、命に関わる健康被害が出ることもある。母が化学物質の含まれる食品を買わないようにしているから。韓国の服の通販サイトで取り扱われている商品に、日本で規制されている化学物質が規定値を超えて検出されたニュースを見たから。アスベストによる被害のニュース。
- あえて「物質」という場合には、マイナスなイメージで捉えることが多いから。
- 体に悪いというほどではなくても、良い影響はないと思ってしまう。同じものであれば、できるだけ化学物質の少ない、自然由来のものを買いたいと思う。
- 自然界では存在しなかったものを人為的に作ったものというイメージ。TV 番組や親からの情報
- 特にない

【「よいイメージとよくないイメージのどちらもある」と回答した方】

- 食中毒を防ぐために食品添加物があるので、なかったら夏場おにぎりやお弁当の保管が難しくなるし、食中毒を心配しながら食べていたら美味しくないと思う。知らぬ間に食品添加物を取りすぎていて健康に害がないかは気になるけれど、使ってよいと思う。NHK の

ニュース 845 の中で、水道水から PFAS が検出され、PFOS や PFOA は環境中で分解がほとんどされないため、環境への残留性や生物への蓄積性などが問題視されているが汚染源が分からないと聞いて、近くに住んでいたら水道水を飲むのが怖いと感じると思う。

- よいイメージは、化学物質により QOL が向上するため。よくないイメージは、化学物質過敏症で苦しむ方がいるため。
- プラスチックも化学物質だけど生活を便利にしてくれていて、プラスチックがないと不便になってしまうから困るけど、環境には悪いから
- 公害を起こすような化学物質もあるけど環境に優しい化学物質もあるから
- 食料の保存とかの長期化ができたりして生活を楽にしてくれるが、発がん性のリスクがあるものもあるから。
- どんなものにもメリットデメリットがあるから。
- 人間の体に影響が強くなるものと、出ないものとかがあり、それもまたどのように扱うか、どれくらい量を使うのかによって影響の出方が変わるから
- 化学物質によって日々の生活が改良や改善されていく便利さを持つ一方、簡単に処理が難しく環境問題に繋がってしまっているから
- 化学物質によって私たちの生活はかっこよくなったけど、私達の怠惰で地球を壊すことを招くから
- 正しい使用方法、量などを守れば生活面でとても役に立つが、過剰使用や有害性を無視しての利用などをすれば生物や環境に害を及ぼすため。
- 便利ではあるが、体内に何かしら影響があると思ったら、怖い。だからと言って、サラダを食べていた際に芋虫が付着していたら、不快になる。人体に影響が出ない程度なら、農業も賛成である。(わがままかもしれないが。。)
- 私は今、海洋プラスチックとマイクロプラスチックの探究学習をしています。その中で、プラスチックは化学物質から作られていて、分解されにくいところが便利でもあり汚染の原因にもなっていることを知りました。プラスチックには添加剤という化学物質も含まれていて、それが漏れ出すと公害や人体に影響を及ぼすこともわかりました。便利さの追求の裏に、人工的に作り出された化学物質が大量に使い捨てにされた結果、人間が自分で自分を汚していることに悲しくなりました。
- 技術の促進に役立っていいと思う一方で、体に害のあるものもあり、使い方次第でいいものにも悪いものにもなるイメージ
- 加工過程や燃焼処理に伴って生じる有害物質による大気・土壌・水の汚染が過去に発生していたり、人体への影響も懸念される。その一方で、身の回りで便利に使用されている。自分もその 1 人であり、化学物質を完全に世の中から無くすことは不可能だと思うから。
- 便利かつ日常生活に必要な物質に使われてる一方で、環境問題を引き起こすなど取り扱いや処理が難しいイメージもあるから。

- 授業などで香害や化学繊維の危険性について習うから
- 【よいイメージ】化学物質を活用することで生活が便利になるイメージがある。化学物質は医薬品に使われているイメージもあり、適切な使い方をすれば、健康を増進できるイメージがある。【わるいイメージ】ものによっては、きつい、独特の臭いを持っているイメージがある。
- 化学物質は大気汚染や水質汚染などの環境問題、イタイタイ病や水俣病などの公害の原因となっていると学校で学んだから。また、化学の授業で有機化学について学ぶ中で、化学物質は洗剤や肥料など私たちの生活に深くかかわっていると知ったから。
- 発電などで私達の生活を豊かにするものもあれば、アスベストや二酸化炭素のように、使い方を誤った結果不利益を生じるものがあるから。
- 必要とされて、人が作ったものである。環境に悪い面もある。本で学んだから。母親に教えてもらったから。
- 化学物質に限らず、全ての物質は量によって毒にも薬にもなると考えている。
- 自然に無害な物も有れば、ゆうがいなものもあるとおもう、人間の役に立っているものもあると思う。
- 良いイメージ:簡単で楽で便利に必要なものだから。悪いイメージ:身体に悪い、ボンドが手にくっついて、とれなくなったことがあるから。
- 体に悪影響が出ることがあることを理科の時間に学び、悪いことかと思いました。メリットはプラスチックなど生活に欠かせないこともありました。
- 病気を直すのに必要な物もあれば、身体に害のある物もあると思うから。
- 理科の実験で水道水にもいろんな物質がはいっていると知った。でもそれを飲む。だから安全なのでよいと思う。ところが最近基準値を超える値の化学物質が水道水から検出されたというニュースを聞いたので完全に信じることはできないのだな、と知った。
- 私たちの生活に役立つ一方で公害などの悪影響もあると思います
- 遺伝子組み換え食品には人体や環境に良い面と悪い面のどちらもあるとニュースで聞いたから。
- ないと社会がなりたたなくなるような、必要不可欠であるもの。が、そのせいで大気汚染などの深刻な問題も引き起こされている悪質なもの。後者については学校の授業で習った。
- 自然に存在しているか人工で合成しているかに関わらず、人体に害があるものもそうでないものもあり、使用するならどのように使うかが一番大事であるため。
- いい面もあればわるいぶんもあるから。子どものときは悪いイメージあったが授業で公害などを学ぶうちに化学物質は近代化に欠かせないと思った。
- 何にもメリット、デメリットがあるから。
- 環境汚染の片棒を担いでいる感じはしつともなくなったらなくなったで困るものが多い。
- 人類の進化の象徴。それによって困る人もいる

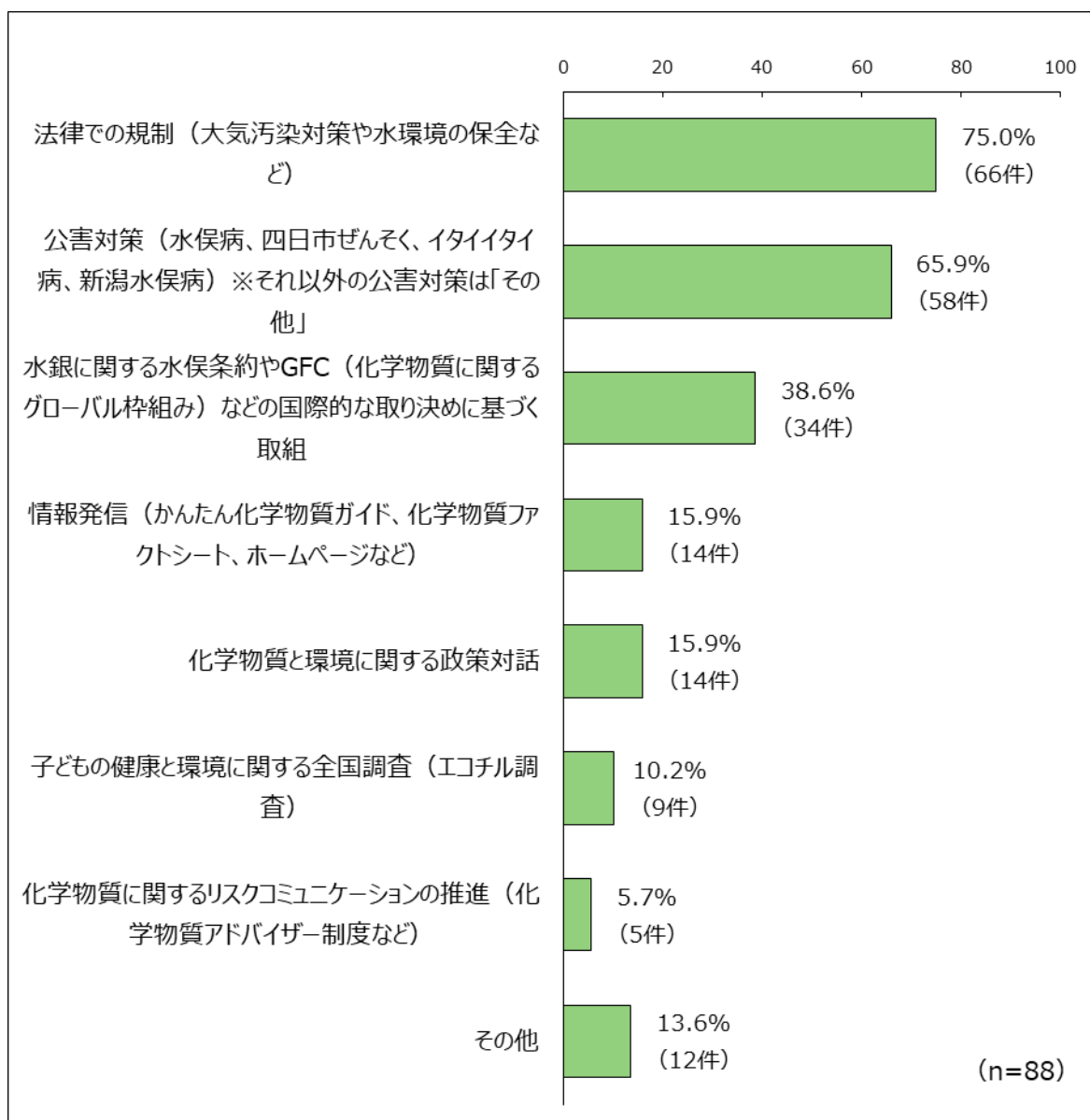
- 化学物質によって便利に暮らせているが、一方で人体によくない場合もあるため。
- 化学物質は健康被害が出る可能性があるイメージがあるけど、生活の色々な場面で使われている便利なイメージもある
- 使い方や使った後の処理が適切であれば危険性は薄くなるだろうから。
- 環境に悪影響を与える面がある一方で、生活の役にも立っているから。環境問題について調べる中でそう思うようになった
- 生活する上で、利用している。身体への害。
- 上の選択肢のよいイメージ、よくないイメージどちらも思い浮かんだから。例えば、プラスチック製品 1 つをとっても、日々の生活に不可欠で、あらゆる場面で役に立っているというよいイメージもある一方で、燃やした際に有害物質が発生したり、分解されにくく環境に悪影響を及ぼしたりするといった良くないイメージもあるから。日頃化学物質を利用したり、ニュースで化学物質についての話題を見聞きしたりして、そう感じるようになった。
- 化学物質があるから便利なこともあるし、それによって体調を崩す人もいるから良いイメージも悪いイメージもある。
- 何度こすっても取れなかった汚れが漂白剤で取れた時から、生活に欠かせないものだと認識しているが、匂いを嗅ぐと少し気分が悪くなり換気が欠かせないことから危ないものなのだろうとも感じている。
- 必要なこともあるが、大気汚染もあるから
- 毒にも薬にも便利な道具にもなるから
- 便利なイメージもあれば、悪影響等のイメージもあり、授業やニュースでそう感じるようになったと思う。
- 健康に害を及ぼすものもあるが、生物たちが生きていくために有効的に利用している面もたくさんあるから
- 毒でもあり薬でもある。公害の原因になったり、文字通り薬にもなる。
- 環境問題に関わっているけど、化学物質のおかげで便利な生活をおくれてると思うから
- 掃除に使うものなどは、使用方法を誤らなければ問題ないと思うから。
- 化学物質のせいで過敏症になった人を知っているから
- 使いすぎたら怖いから
- よくないイメージの方が強いです。化学物質などによる環境汚染や公害など学生時代学んできましたし、体内に入ると危険だからです。しかし、体調が悪いと薬を飲みますし、洗剤は様々なものを綺麗にします。生活上必要なものも多くあるため、上手く付き合う必要があります。そのため、どちらのイメージもあるを選択しました。
- 化学物質についてあまり詳しく放らないことに加え、新聞やニュースで化学物質という言葉が使用される時は何かしらの問題がある時が多いから

- 良いイメージ:・学問的な意味での単語のイメージ。特に良いとも悪いとも感じないが役に立つという観点では「良い」と捉えた方が近い。悪いイメージ:テレビや新聞で「化学物質」と書かれた時のイメージ。悪い影響がある時にしか使われていないように感じる。
- いいとか悪いとかではない
- 人体への影響が報道されたとき。
- 化学物質の範囲が広すぎて何とも言えん

【「わからない」と回答した方】

- 化学物質の言葉が難しい

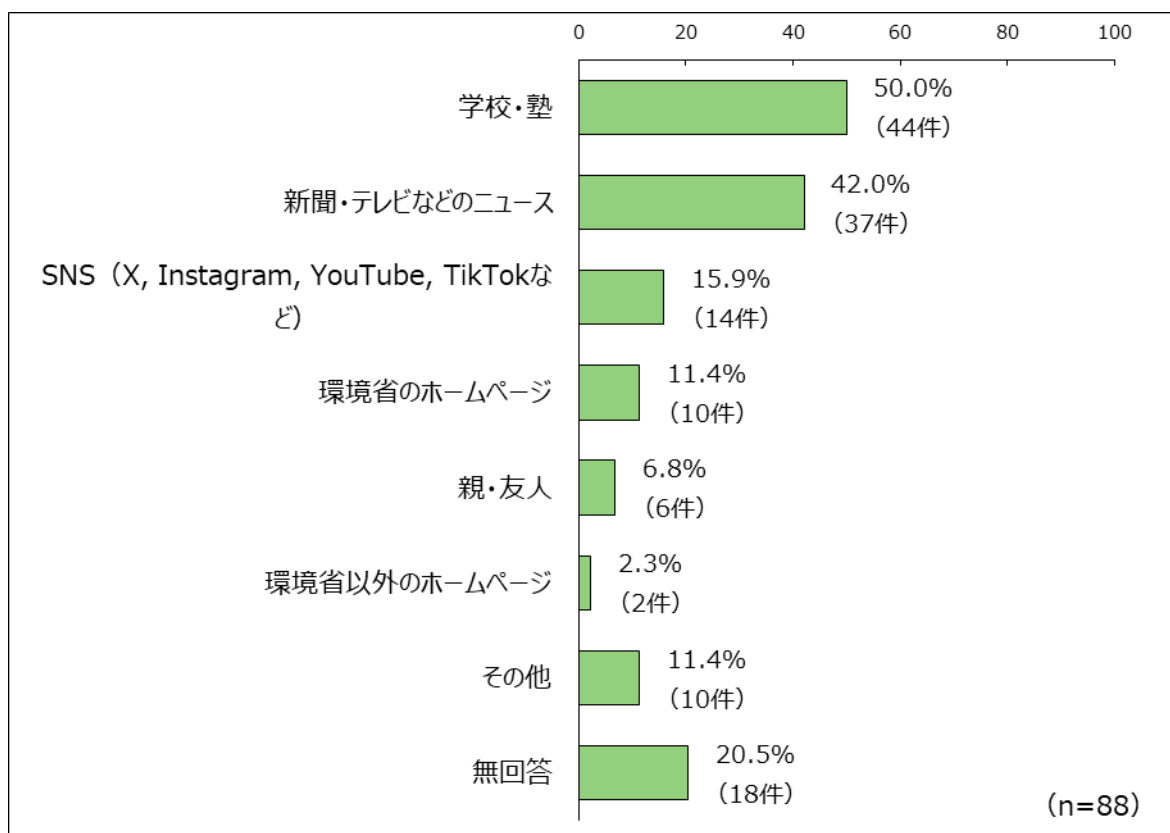
Q7. 化学物質に関する環境省の取り組みについてどのようなことを知っていますか。(複数回答)



Q8. (Q7 で「その他」を選んだ方のみ)「その他」で考えた化学物質に関する環境省の取り組みはどのような内容ですか。(自由記述・任意回答)

- PFAS 検査、専門家会議など
- 騒音
- 今回のアンケート
- ゴミ処理場や処分場での化学物質はどのような基準があるのかは詳しくは知りません。
- どれもわかりませんでした。
- 知らない(7件。類似する記述を含む)

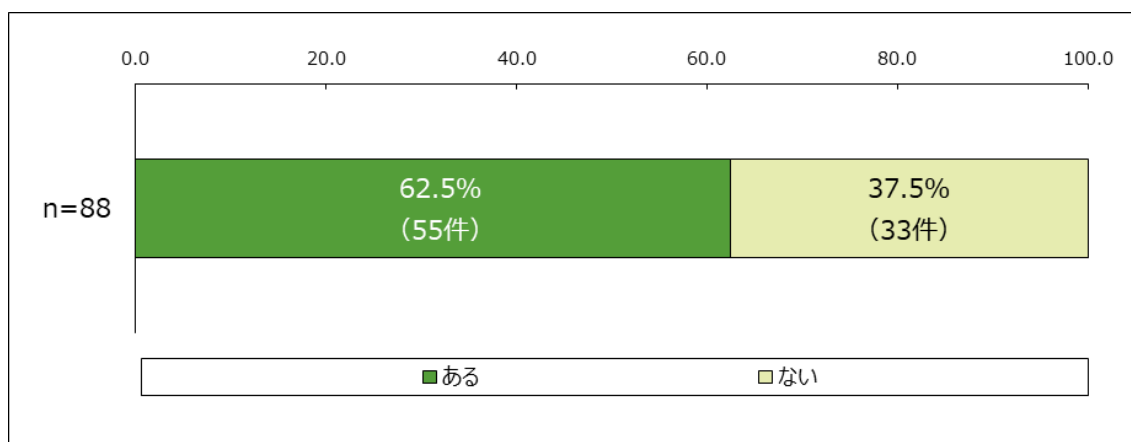
Q9. 環境省の取り組みについてどこで知りましたか。(複数回答・任意回答)



Q10. (Q9 で「その他」を選んだ方のみ)環境省の取り組みについてどこで知りましたか。(自由記述・任意回答)

- 本
- 環境省とかではなく、授業で国としてという感じで習った気がします。
- 学校の授業
- こども若者意見プラス
- こども若者★いけんぐらすのアンケート「あなたにとって化学物質はどんなもの？～環境問題と化学物質について考える～」のテーマ説明資料を読んで。
- 小泉進次郎か何かセクシーに解決するとか何とか言ってた
- 特にどここというわけではない
- 知らない(2件。類似する記述を含む)

Q11. 化学物質に関する国内外の環境問題を習ったり、聞いたりしたことはありますか。(単数回答)

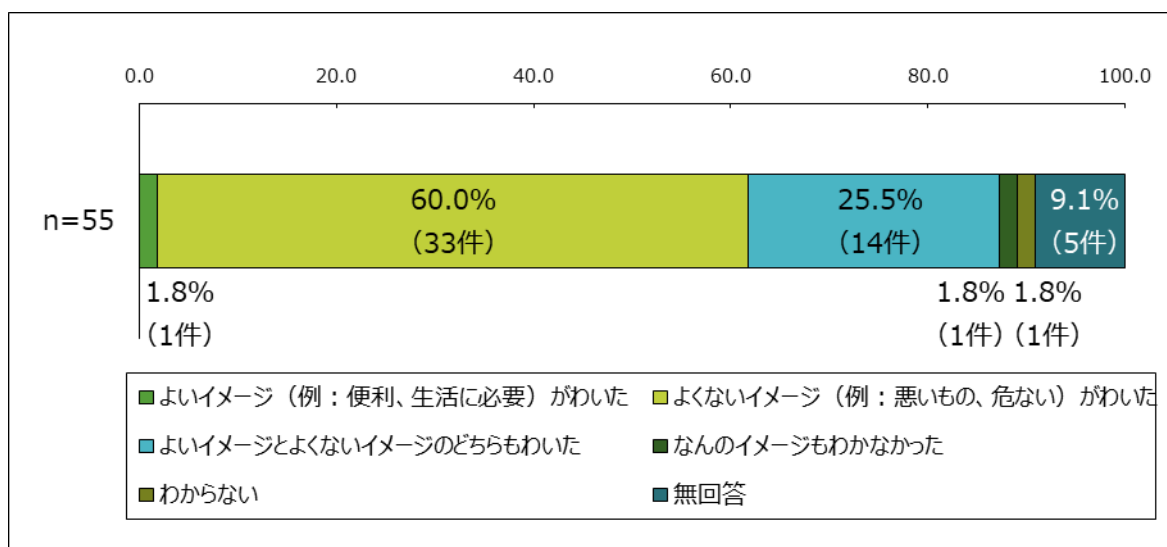


Q12. (Q11 で「ある」を選んだ方のみ)国内外におけるどのような化学物質の環境問題を知りましたか。(自由記述・任意回答)

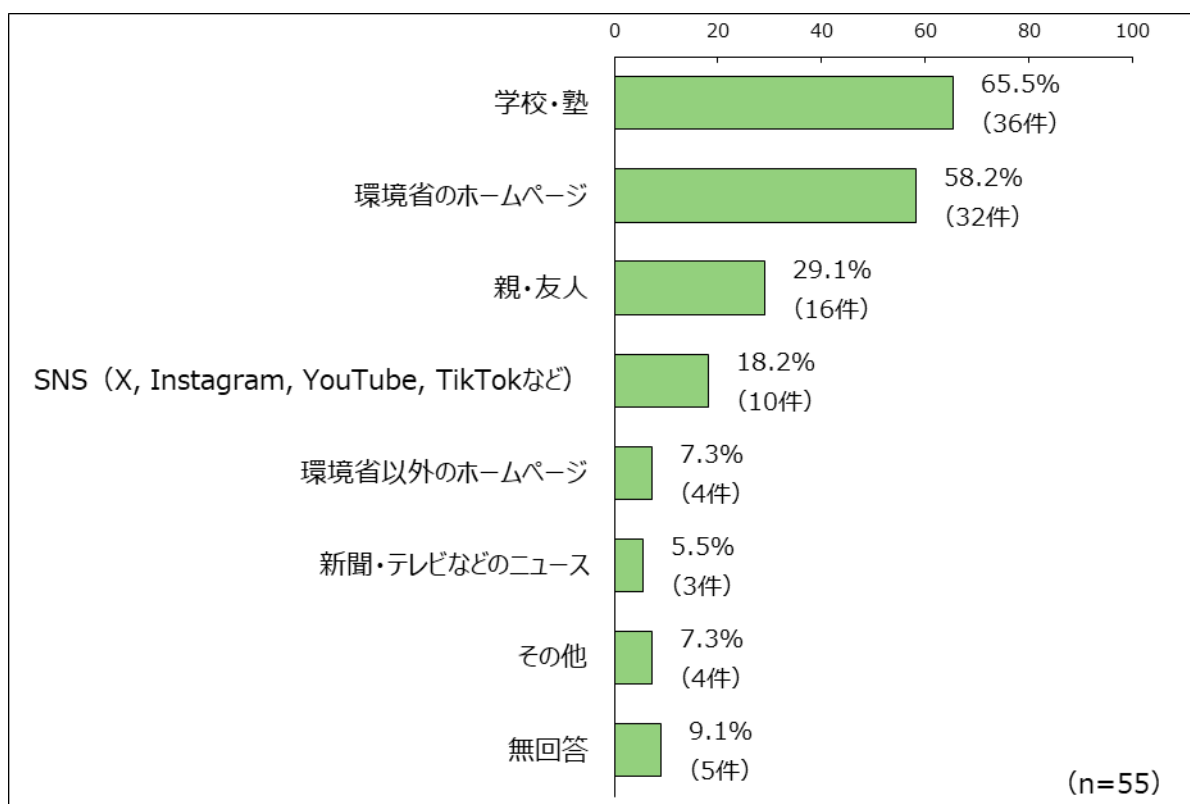
- 中学・高校の公民で習う公害問題。海外の環境問題についてはほとんど知らない。
- 水俣病など、公害による被害。
- 水俣病、イタイタイ病、新潟水俣病、四日市ぜんそく、有害フッ素が水道水に混入していたという問題
- 四大公害病(2件)
- 四大公害や、チェルノブイリでの原発事故
- 公害病 酸性雨
- 公害(4件)
- イタイタイ病、水俣病、福島原発やチェルノブイリの放射能汚染
- イタイタイ病、四日市ぜんそくなどの公害。中国や、近代のイギリスでの大気汚染。水質汚染や、水質汚染による赤潮。
- 4 大公害、酸性雨
- ①国内などイタイタイ病など公害。②国外だと沈黙の春
- 国内の公害について(水俣病など)・枯葉剤・農薬、肥料の過剰使用
- ベトナム戦争の時にアメリカが枯葉剤を使用したことで一帯の熱帯雨林が枯れてしまった。四大公害や足尾銅山鉱毒事件、生活用水に、人体に影響を及ぼす恐れのある化学物質が含まれていたこと。洗剤による琵琶湖の汚染。瀬戸内海の赤潮。
- ゴミを不完全燃焼すると発生するダイオキシン。マイクロプラスチックの環境、生物、人体への影響。インドの大気汚染物質 PM2.5。壁紙に含まれるホルムアルデヒド。
- 無害化処理をしないでの放出、現在は規制されているが過去に使用したものの継続的な被害

- 地球温暖化、大気汚染、水質汚染、赤潮
- 大気汚染や河川、海洋汚染のニュースで見た
- 大気汚染による呼吸器疾患、水質汚濁、砂漠化など
- 環境汚染とか
- 海外(特にアフリカなど)の水質や大気が化学物質によって汚染されていること
- ボパール社の事故など、化学物質を取り扱う会社の事故。PFAS 問題。
- 授業で、アスベスト問題や原発の処理水問題を知った。インターネットの記事で、海外で石油の漏洩があったことを知った。
- 温室効果ガス排出によるオゾン層の破壊。中国の光化学スモッグ。酸性雨
- 大気汚染です。日本でも国外でも聞いたことがあります。
- pm2.5
- 服の製造を行う工場で、排水が処理されないまま川に流れ出ている問題
- 途上国での生活排水など、川への排水。アスベスト、自宅のリフォームのときに両親が話していた。
- 水道水に基準値超えの有害物質が含まれている地域があること。
- 産業廃棄物としての水銀の流出、マイクロプラスチック問題
- 海にペットボトルとかがポイ捨てされていることを知った。
- 海が汚れる
- プラスチックの問題です。
- フッ素化合物の水質汚染
- シンガポールの水質の話やアステルファーム K など本を読んだことがあるが、学ぶ機会はほとんどなかった
- 日用品などの影響による、化学物質過敏症。
- 香害。給食のエプロンがくさい
- 北九州市環境首都検定
- 学校で授業で聞いた

Q13. (Q11 で「ある」を選んだ方のみ)化学物質に関する国内外の環境問題を知ったときに、化学物質に関する環境問題の具体的なイメージがわきましたか。(単数回答・任意回答)



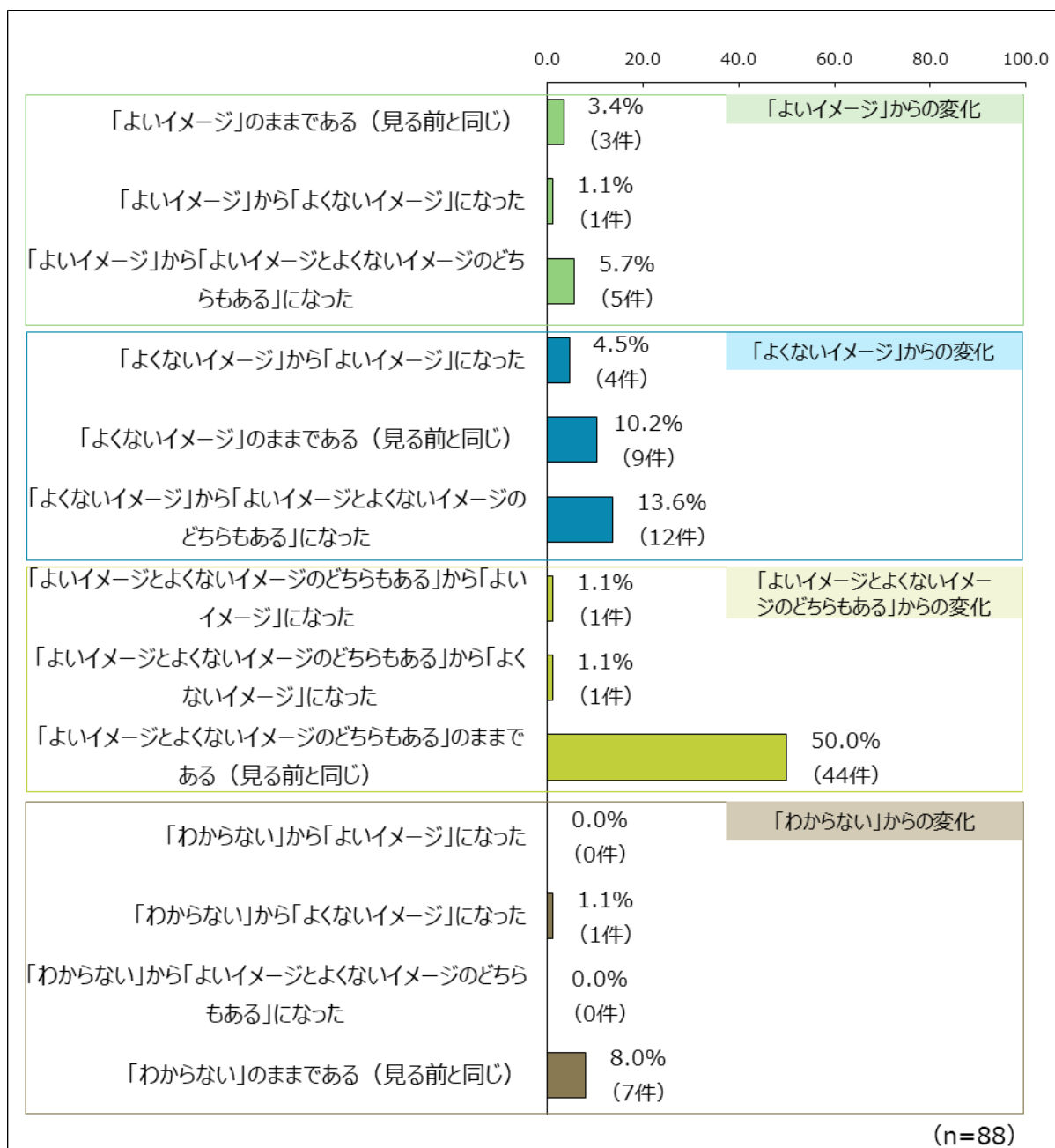
Q14. (Q11 で「ある」を選んだ方のみ)化学物質に関する国内外の環境問題について、具体的にどこで知りましたか。(複数回答・任意回答)



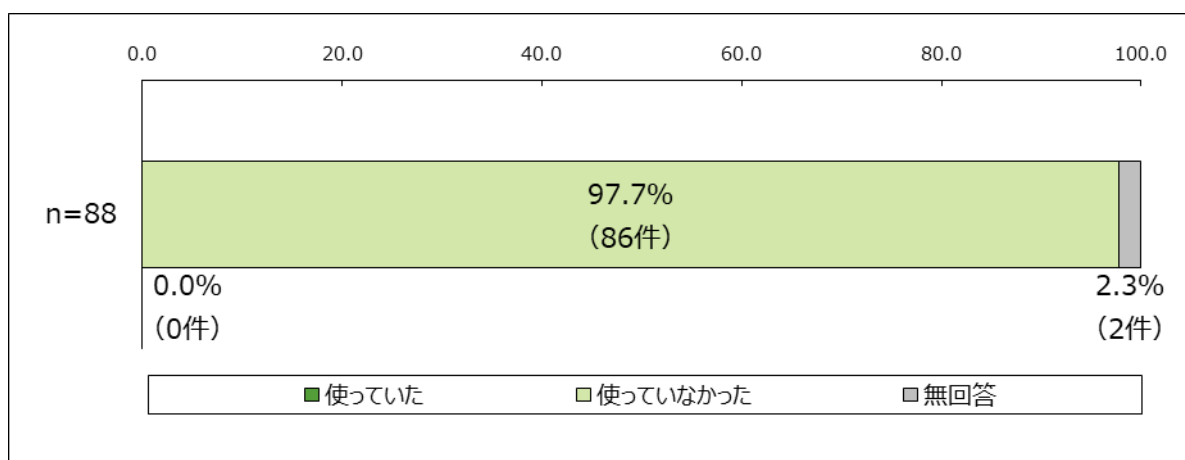
Q15. (Q14 で「その他」を選んだ方のみ回答)化学物質に関する国内外の環境問題について、どこで知りましたか。(自由記述・任意回答)

- 兄がベトナムやインドを訪問したときに、ゴミや川が汚染されていた話を聞かせてくれました。
- 家族から聞いた
- さかなクン探究隊に所属しており、そこでの講義で知りました。

Q16. 化学物質について小学校高学年以上向けにわかりやすく解説した「かんたん化学物質ガイド」を見て、化学物質や、化学物質に関する環境問題のイメージはどのように変わりましたか。(単数回答)



Q17. 環境省が化学物質について小学校高学年以上向けにわかりやすく解説した「かんたん化学物質ガイド」を学校の授業で使っていましたか。(単数回答・任意回答)



Q18. 化学物質について小学校高学年以上向けにわかりやすく解説した「かんたん化学物質ガイド」のホームページはどうしたらもっとわかりやすくなったり、みんなが見たりするようになると思いますか。また、よければ、環境省の環境リスクコミュニケーションのホームページについてもご意見をください。(自由記述・任意回答)

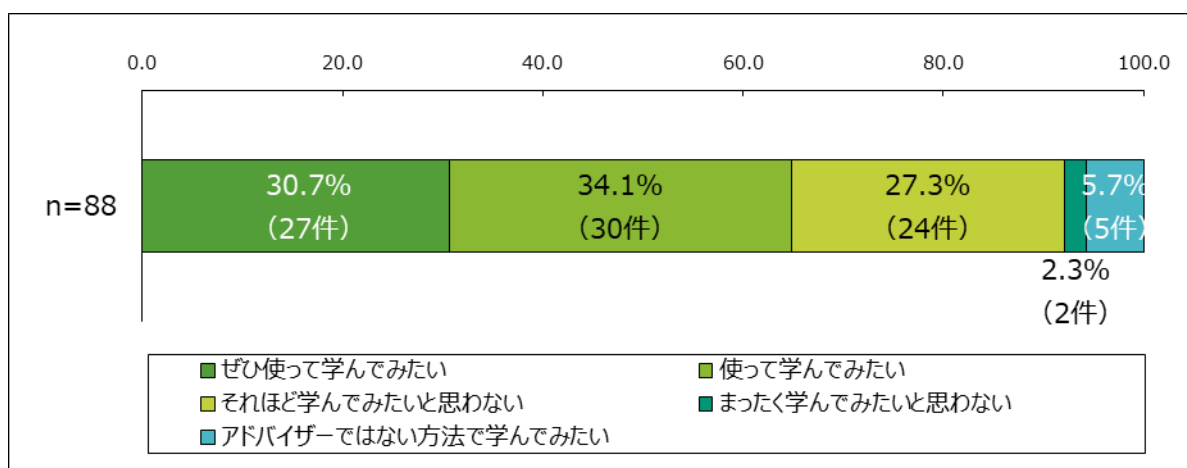
- 文字が多すぎると思いました
- 「かんたん化学物質ガイド」のホームページについて、字が多く、クリックすべきところがわかりにくいように感じた。
- 「かんたん化学物質ガイド」は、文字が多くて読みにくかったです。「環境リスクコミュニケーション」はパソコンで見ると画面が小さくなってしまい、見にくかったです。また、「子ども」のページにはボードゲームの説明がのっていたのですが、コンピュータ上で遊べるようにしてもらえるとありがたいです。
- 最近のホームページではなく、古いタイプのホームページのようだと思った。全体的に文字が多くインパクトがないので、もう少し、色を変えたり、文字を少なくすると思う。
- 身近な大人が話題にしてくれると興味を持つと思う。子どもだけでは、読むことも、話題や興味を持つことも少ないと思う。かんたん化学物質ガイドは、文字が多い。HP は分かりやすく見やすいかもしれないけど、興味は沸かない。
- このアンケートについてもそうだが、「かんたん化学物質ガイド」全文に目を通すのは難しい。
- 読むだけより、動画を使った学習の方が子どもたちはより集中し理解も深まると思う。そのため、ガイドブックに沿ったアニメなどの動画教材があると良いと思う。
- もっと親しみを持てる絵にして、それをスライドショーにして流す。興味を持ったものに触れると、文字が読めるようにする。

- マンガ化する
- まず、ダウンロードする手間がかかりそこで諦めて読まないです。色々なメーカーのホームページを見てください。見やすいし興味をひくのがうまいです。例えば AGC。
<https://www.env.go.jp/chemi/communication/kids.html>。サバイバルという人気漫画とコラボしており楽しいページです。他にも Dr.ストーンなど、科学系の人気マンガとコラボするのはいかがでしょうか。
- アニメーションで解説する。有名人による宣伝。
- ふりがなを振る
- 「かんたん化学物質ガイド」を掲載しているホームページをわかりやすくする。キャラクターを載せる。冊子にして、学校や児童館、図書館などに置く。
- かんたん化学物質ガイド:内容は分かりやすく、また、イラストや漫画が多いため小学校高学年や中学生向けの教材として良いと思った。デザイン面で言うと、表紙の文字の影は逆に見にくくなっているのではいけないと感じた。多くの人に興味を持ってもらうなら、日本が誇るアニメのキャラクターなどとコラボしたものなどが作れると、小学生もより興味を持って読むのではと思った。
環境省:環境リスクコミュニケーションホームページ:デザインが古いと感じた。環境省のホームページはすごく見やすいのに、このページはパソコン向けなのか、スマホだと文字のサイズや配置がおかしくなるし、配色も色が多すぎて逆に見にくい。多くの人に見てもらいたいのなら、字体やイラスト、配置などを変えるべきだと思った。
- とても簡単にしてもらっているのでもっと普及してほしいなと思ったが、HP が“一世代前感”があるためリニューアルして HP 自体をわかりやすくしてもらえればより良いと思う。
- かっこよさが足りない(もっとこってもいいと思った。そうでないと、あまり興味がわかない)
- 環境リスクコミュニケーションのホームページを見た所、ホームページがレトロでワクワクしなかった。エコプラントゲームを市区町村の公民館などで老若男女で集まって遊ぶと世代ごとの環境の知識が共有できると思った。
- サイトの見た目が古めかしく親しみがないデザインに思える。特に「環境省 環境リスクコミュニケーションホームページ」はどのような人が自発的に見る機会が生まれるのかあまり想像がつかない。(教育現場などで使用されるのでしょうか?)
- スマホで見にくい形式なので、普通のスマホ用ホームページのような形式の方が良い。かなり拡大しないと各ページの内容が見られない。ダウンロードも面倒くさい(スマホではダウンロードするのが面倒なので)。ダウンロード前提ではないほうがいい。
- 「かんたん化学物質ガイド」に関しては、意見なし。「環境省 環境リスクコミュニケーションホームページ」に関しては、サイトの作りが古く今のモニターサイズにあっていないうえスマートフォン(モバイル画面)への最適化がされておらず見づらい。

- パソコンでの閲覧を全体にサイトが設計されているように見えるので、スマートフォンでも見やすいように設計し直すと思う。学校でサイトのリンクや QR コードを載せたチラシを配布する。
- かんたんガイド→PDF をダウンロードしなければ見られない仕様は確認しにくい。PDF は必要だとは思いますが画面だけで内容が確認できるようにしてほしい。最初に目次が文字で提示されているのはあるのは良い。ただ、環境省のページから子供用と提示されるには構成が分かりにくい。「ダウンロードページへ」という言葉が子どもや不慣れな人にどの程度伝わるのか。アクセス者は資料ダウンロードがしたいのではなく内容の確認がしたいので、行いたい行為とリンク名がズレている。詳細あるいは資料タイトルをボタンにしてクリックの方が分かりやすいと思う。環境リスク→画面遷移後、元のメニューへ戻るボタンが無い(スマホから見えています)。子ども用メニューが子供というより指導者用に見える。エコプラントとすぐろくは指導者用の枠で示した方がいいのではないか。
- ・化学物質の性質や健康への影響は分かりやすい。適切な使用方法を考えるきっかけになる。しかし、環境への影響についての説明が不十分であると思う。「環境にでてしまう」「環境リスク」などの文言が散見されるが、その具体的意味が曖昧に思われる。
[乗り物と化学物質]
→Q2 で地球温暖化や光化学スモッグに言及されているが、もっと目立つように記載した方が良い。化学物質が発生することを述べるだけで終わってしまっているように感じる。
[洗剤と化学物質]
→Q2 で魚や貝がすめなくなるという環境リスクについて記載した上で、私たちの食生活に影響が出ることまで説明した方が、より深刻さが伝わると思う。「魚が死んでしまう」と言うだけでは道徳的な問題で終わってしまうように感じる。
[殺虫剤と化学物質]
→人間への影響についての言及がほとんどで、他の生物への悪影響についてもっと詳しく知りたい。
[塗料・接着剤と化学物質]
→環境への影響が健康に悪影響を及ぼす、という連鎖が明確で分かりやすい。
・このガイドを小学校教員がどう使用するかで捉え方が変わってくると思う。授業で使用する場合、モデルとなる授業構成をしっかりと作った方が良い。例えば、まず「化学物質とは何か」「良いものか悪いものか」などの問いを与え、適切な使用方法をガイドを読む前に考えさせる。
・教育機関と連携して学校に直接提示した方が良いと思う。
・ガイドと環境リスクコミュニケーション HP に共通して、環境省の HP からアクセスしづらい。そもそも化学物質アドバイザーを知らない人が多いと思われる。環境省だけでなく関係省庁が発する諸情報媒体で定期的に発信したら良いと思う。”
- 身の回りや自分とも深い関係がある事を知る

- 具体的な事例を挙げるページを作る
- もっと気軽に見れるようになれば良いと思いました。
- サイトだけでなく SNS の取り組みでもっと興味を持ってもらうようにしたり、イベントを開催するのを広げていくことだと思います。
- 化学物質でも人間が作ったもののほうが悪いのか？どれも同じなのか？少し疑問が残ると感じた。
- わからないけど頑張れ！！

Q19. 環境省の化学物質アドバイザー制度(化学物質についてみなさんの「知りたい」「学びたい」を助ける人材を派遣する制度)をつかって化学物質と環境のことを学んでみたいと思いますか。(単数回答)



Q20. Q19 でそう答えた理由や学んでみたい内容を教えてください。(自由記述・任意回答)

【「ぜひ使って学んでみたい」と回答した方】

- 学校での出前授業は時々しかない為、教えて貰った事が記憶に残っているから。学校の先生が教えて下さるより専門の先生の方が分かりやすく教えて貰えそうなのと、学校の先生が授業以外で更に教える事が増えると先生の負担が増えて辛いと思うから。
- 専門家に学べる機会があるならばそのほうが良いと思うため。
- 学校の先生が知らないような、マニアックなことも教えてもらえそうだから。
- 先生だけでなく、専門の人が来て自分たちの話し合いを学ぶことは、無知である私たちに大きな影響を与えてくれると思います。
- 自分の知らない知識を深めてくれそうだから
- プロの話しを聞きたい
- 人体や動物に害のある化学物質を知ってみたいと思ったから
- 科学について興味がある。化学物質について正しい知識を身に付けたい。

- あまり化学物質のことについて知らないから
- プラスチック問題を含む環境問題をよくしたいし、自分の体を守りたいから。また、化学物質を安全に、便利に使いたいから。
- 環境問題と化学に興味があるから
- 身の回りの植物から発生する化学物質について
- 今の日本と海外の化学物質を使っている上での環境へどんな影響があるのか、またその現状を知りたいから。
- 面白そうだから
- 学級崩壊しかけのクラスでもどうにかできそうだから

【「使って学んでみたい」と回答した方】

- 学校の先生は確かに知っていることは限界があるので専門の方がいれば心強いので、いたらとてもありがたい。しかし、調べたら登録人数が少ないため、わざわざ遠いところから来てもらうくらいなら。。。という気持ちもある
- 専門家が説明してくれるので、一般の先生が説明するより、深く知ることができるので、良いと思いました。化学物質について話を聞くだけでなく、体験形式でやると、児童も積極的に参加してくれると思います。
- いろんな先生に習うのがいいと思う
- 学校の化学の勉強だと、化学式と向き合っているだけで化学を勉強する意義があまり見いだせていないので、アドバイザーの方から化学について興味を持てるような講演をしていただきたい。
- 学校の先生だけでは補えない知識を補ってくれるのは、児童生徒にとっても教員にとっても良いことだと思うから。
- 専門員がよりわかりやすく親しみやすく興味深く学べたら良いと感じたから。
- 生活に身近な化学物質について知ることはとても重要だが、教える人にはある程度の専門性が求められるため、アドバイザー制度を利用した方が良いと思った。
- 専門家に話を聞いた方がより詳しく知ることができると思うから。
- 専門の人から話を聞けばみんなの化学物質への理解や興味が深まると思ったからです。
- 化学物質のメリットデメリットを専門家の視点から話を聞きたい。
- 化学物質について詳しくないと、何に気をつけなければいけないのか分からないため。また、規則などを設けようとした場合に、知識がないと適切な対応が取れないため。
- 高校、大学で文系に進むと化学物質についてあいまいな知識を持ったまま、または誤った偏見を持ったままになってしまうから

【「それほど学んでみたいと思わない」と回答した方】

- 何の授業で勉強するのか、よく分からない

- この文章見るだけでは効果的な気がしないから
- あまりイメージがわからない
- 既に社会人のため。学生だったら興味があった
- 興味ないから
- 環境問題に正直そこまでの興味を持っていないので、もっと興味を持てるきっかけがほしい。環境問題については、歴史の一部でも学ぶが、環境問題にフォーカスして学んだことはなく、よくわからない(あくまで環境問題は、ある時代の 1 つの出来事)ので、環境問題のみの時代変化が分かると面白いかもと思った。
- ニュースや SNS の情報の方が目につくため、自分自身の考えはあまり変わらないと思うから。

【「まったく学んでみたいと思わない」と回答した方】

- そもそも学校で化学物質について、化学の授業で学ぶ以上のことを学ぶ必要性が感じられないし、学びたいとも思わない。アドバイザーの派遣費に対してなんの効果がどれくらい見込めるのかわからない。アドバイザーの存在が化学物質についての理解が深めるとは思わない。

【「アドバイザーではない方法で学んでみたい」と回答した方】

- 環境について自ら調べ、訪れ、観て学ぶことの方が積極的な学習に繋がると思う。
- 話しを聞くことも大切だと思うけれど、アドバイザーと聞くと、話しが長いや専門的などのイメージがある。ファシリテーターと一緒に取り組む講話をしたい。
- 1 人が説明しにくるだけでは、不十分のように感じる。特に科学はさまざまな実験結果があるように一つだけの見解はあり得ないと思います。また化学物質は種類がたくさんあり専門性が違う分野の人にはわからないこともあると思うからです。また日々新しい研究が出ているということを考えると 1 人だけを信用することはできません。いろんな意見を聞いた上で比較できるような形、もしくは自分で化学物質について調べたりできる方法を学べる方が、意味があるように思います。聞いたものをそのまま信じることは難しいので、自分でさらに調べ考えることができる制度があればうれしいです。
- 化学物質アドバイザーの派遣を依頼するのに、お金がいくらかかるかわからないから。

Q21. 環境省では、市民、事業者の代表などのみなさんと、化学物質に関する意見交換などをするために「化学物質と環境に関する政策対話」を行っています。例えばこれまで、化学物質に関する教育や、災害・事故時に工場などから化学物質が出てしまわないための予防策などが意見交換のテーマとなっています。みなさんから、化学物質や環境問題について、ほかの大人や事業者のみなさんに伝えたい意見はありますか。(自由記述)

- 良い面、悪い面どちらも理解したいと考える。
- 怖がらせすぎるのではなく、便利なものであるからこそその弊害といった程度にして欲しい
- 日本は化学物質が何に使われているか知らない人が多い。何をとっても安全と考えがちであるから、具体的に身近に何があって、何が危険かを伝えたい。
- 大人で話し合ったことを子供へ伝えることをしっかりすることだと思います。自分たちが将来をつくりあげて行く存在だからこそ、知るべきこともあると思いました。
- 正しく使えば良いものだから正しくつけてほしい
- 身近な化学物質が生態系に及ぼす影響についてよりわかりやすく認識できるトピックならより気になる
- 情報を全部出すことが大事だし 理解できるように整理して 子どもにも伝えてほしい
- 小学生から大人まで幅広い対象に対して、食品添加物に関する誤解を解く働きかけをしてほしい。保存料や着色料、特に名前のせいで誤解が多い発色剤(ボツリヌス菌の増殖抑制が主目的)など必須な物だがよく思われないことが多いため。
- 最近は環境問題にフォーカスされすぎていて、化学物質が悪者とされやすいことが気になっている(よくある例だと食品添加物等)。例えば除草剤は良くない(と思い込んでいる)ので塩を公園に撒いた、ということも SNS で見たことがある。塩はそれはそれで別のデメリットがあり、メーカーは試行錯誤して除草剤を作っているはずで、そういった事実が知られていないのは残念だし危ないと思う。私は化学系ではないが技術者なので、将来の技術者が増えてほしいと思っているが、科学技術が蔑ろにされていて良くないと思う。本当の意味で正しく学べるといいと思う。
- 環境に優しい化学物質と悪い化学物質にはどんな違いがあるのか
- 化学物質は正しい知識をちゃんと大人から教わる機会は少ないので私たち世代に正しい知識を是非授業やセミナーなどで教えてほしい
- 化学物質の恐ろしさをよく知っている人が先導するようにしてほしい
- 化学物質の安全性について
- 化学物質のからだへの影響を正しく明らかに示してほしい
- 化学物質について子どもにもっと知ってもらうことで、そういった議論が活発になると思う
- 化学物質についてただ教えるだけではなく、身近にあるものに置き換えて学ぶことが出来たり、学びのその先に繋がられる学びを提供することが大切だと思う。また、化学物質に関わらず、情報リテラシーを同時に学ぶことが出来るといい
- まだまだ授業ではサラリと触れる程度なのでさらに詳しく学べるように
- ホームページの内容が難しい。自分の得意分野、興味のある分野ではないと内容自体を理解しづらい。
- 地球温暖化の問題が深刻になり、地球沸騰化という時代に突入しているらしい。行動するのなら、今しかないから、ぜひ私たち子どもにもできる取り組みをたくさん発信して欲しい。

- 子供から大人まで一人一人が環境を大切にしようとする意識をもつようになれば環境が良くなると思います。
- 子どもでもわかりやすい授業や本を作ってほしい
- 環境に配慮した取り組みを行っている事業や人々に向けてどのくらい成果が出ているのか公表してほしいです。
- 外部に環境対策について報告する際は、正常値との比較やどれほど人体に影響がないのか丁寧に説明してほしい。
- 化学物質が引き起こす健康被害のおそれについて明確に示し、注意喚起をより活発に行って欲しい。環境問題を引き起こさないための政策を積極的に打ち出して欲しい。
- どのような予防策を興じているのか、わかりやすく提示してほしい。また、流出してしまった物質に対しては、どのように解決されていくのか、あまり耳にする機会がないので、対応法についても聞きたいと思った。
- ・アメリカのピッパースタANDARD洗濯用洗剤だと、有害な化学物質を配合しなくても汚れがよく落ちると書いてあり、近くのドラッグストアにはない為そもそも商品を知らない人が大半だと思うし、沢山の種類が売られているが大半が国産の物で、海外の環境に優しい洗剤を買おうという思考にはなりづらいと感じる。開けやすくはないがオシャレなボトルで、環境に優しいなら海外の洗剤を取り扱って消費者の選択肢を増やして欲しい。
・報道番組の特集で、化学物質や環境問題についての回を観ると恐ろしいという印象だけが残り、正しく恐れる事ができていないと感じる。今できる対策をセットにして放送して欲しい。また、海外ではどんな対策をしているのか知りたい。
- [規制]事業所からの排出に関して、大気・水・土壌・廃棄物の全てのカテゴリーを網羅する規制が必要だと思う。大気についてクリアしても排水によってクリアしていたり、排水をクリアして廃棄物の形で排出している可能性があるから。
[情報共有]化学物質に限らず情報が少ないと感じている。ニュースアプリやサイトに「環境」ページを設けて欲しい。政治、経済、ライフスタイルなど同レベルで重要であり、既存のコンテンツの分類を横断するカテゴリーであると思う。
- 特にありませんが、このような取り組みがされているとは知りませんでした。もっと広く周知されると良いと思いました。
- 利益ばかりを考えて、環境を破壊するような企業の製品は使いたくないと考えているが、そのような企業を見分ける方法などはあるかどうか、知りたい。そのような情報をまとめている信頼できるソースがほしい。
- 有害フッ素など、身近な公害の対策について意見交換をしてもらいたいです。
- 儲けより、環境に配慮してください。たった一つしか無い地球です。未来の子供たちが明るく健やかに過ごせる地球をこれからも。

- 特にヨーロッパのように人の健康を守るという観点からできるだけ「予防的」な観点を大事にしてほしいです。ゆくゆく欧州の規制が強まればサプライチェーンの影響で日本の規制が弱いことがあだとなり事業者に悪い影響を与えたいと思います。
- 地元で水道水の汚染があったけど…無害だと思ってたけど長年経ってからやっぱり有害（もしくは悪影響は別の要因で単体なら案外大丈夫）でしたみたいな話があるからなあ。予防が大事なのは100も承知だけど主流のやり方が間違ってたっぽい時にフツ軽で修正出来る体制も必要だと思う。
- 大阪・関西万博では、化学物質がたくさん使われているという話を聞いたことがあります。本当に全く健康被害の可能性は考えられない程度なのでしょうか。
- 数十年先の将来のことを具体的に考えて予防策を検討してほしい。
- 人間に害がないならどんどん使ってもいいけど、化学物質の影響で花粉症がひどくなったりしてるから注意してね
- 人とすれ違ったり、バスに乗ったりする時、香水ではないにおいを感じることもある。CMで良く見る「●●の香り」なんだと思う。本人はいい香りだと思っているかもしれないけれど、いやな人もいるんだろうなと思う
- 新しく発生した環境問題について、具体的に事業または生活のどのような行為がどのような化学物質を生むのか、またそれはどのような影響を与えるのか、どのような方法で抑制することが出来るのか
- 自然環境を大切に!
- 自家用車を持つ人や政治家は、もっと関心を持つべきだと思う。他人事ではない。
- 使いすぎると環境汚染につながるから、使い過ぎないでほしい
- 災害・事故が起きてもすぐに停止や対処が出来る環境をととのえてほしい。すぐに停止や対処が出来ないのなら、化学物質が出ることは、現在進行形で未来のために使わないでほしい。民間人に危ない目に合わせたり迷惑をかけないでほしい。
- 根本に立ち返って人間のためになる行動をとってほしい
- 国だけでは限界があるので企業にも参加義務があるといいと思う
- 具体的に意見を考えていただき、それを政策に反映してほしい。
- 環境問題は私たちの世代や、未来の世代のためにもきちんと対策をとって解決してほしい。ほとんどの事業者の方はきちんと対策・処理されていると思うが、一部の不法投棄などを行っている事業者は、しっかりと処罰をしてほしい。また、環境問題は一部の人々が努力したところで大きく変わるわけではないと思うので、より多くの国民に環境問題の存在や、そのために私たちができる身近な取り組みについて知ってもらい、社会全体で環境問題に取り組む意識が重要だと思う。お得になるキャンペーンなど、魅力を感じることを行えば、一般の人々もより興味・関心を持ってくれると思う。また、環境問題ではないが、化学物質・化学は私たちの生活に密着していて生活を豊かにするのにすごく大切だと思うので、教育を通じて多くの人に化学物質や化学の魅力を知ってもらい、化学に興味を持つ人

を増やしてほしい。私の周りにも、化学物質＝悪いものにとらえている人が少なくないと感じるので、正しい情報を多くの人に伝えてほしい。

- 環境に悪いプラスチックの使用量を減らすために生分解性プラスチックをもっと多く生産して普通のプラスチックと変えることは出来ないのか。
- 過去にあった公害がまた起こらないように研究してほしい
- 化学物質全般についてだと色々ありすぎるので、私からはプラスチック問題について大人の人に真剣に考えてもらいたいと思います。海に出かけてみてください。私はビーチクリーンに出かけてすごく悲しくなりました。手で拾えないほど小さなマイクロプラスチックがたくさん落ちていたからです。この小さなプラスチックがさらに細かくなるとどうなるのか疑問に思い調べてみると、目に見えないほど微細になり、人間の体内に入り込み、病気の原因になっていると知りました。自分が使ったプラスチックが自分の体を汚している。とてもショックでした。この現実をどう解決すれば良いのか考え続けています。生分解性プラスチックが解決の一つの方法になるかと思い、調べてみると、最終的に分解されるまで時間がかかり、マイクロプラスチック問題の完全な解決にはつながらないと感じました。生分解するかしないかに関わらずまず使い捨てプラスチック容器を減らすことを徹底しなければ、解決は難しいとわかりました。自分一人だけではどうにもできないため、生分解性プラスチックのメーカーや近くのスーパー、政府に働きかけ、使い捨てプラスチックを少しでも減らしたいと思うようになりました。ニュースにも関心を持つようになり、プラスチック規制を目指す国際条約が合意に至らなかったことを残念に感じました。まずは自分から、ペットボトルや持ち帰り容器を使わない生活を心がけています。なるべく多くの人にマイクロプラスチックが病気の原因になること、ポイ捨てされたものではなく街から風に飛ばされてきたゴミが大量に海に流されてきていることを知ってもらいたいです。リサイクルもエネルギーとコストがかかるから、プラスチックを減らす・物を増やさないのが 1 番エコなことも知って欲しいです。そして、スーパーで量り売りの場所を増やして欲しいです。カフェでは使い捨てのカップを使わないで欲しいです。政府は使い捨てを減らすキャンペーンや地球にやさしいプラスチック代替素材を普及させる補助をしてください。お願いします！！
- 化学物質を使うこと自体が悪いわけではないため、すべてにおいて適切な使い方をできるように監視の目を働かせてほしい。
- メリットとデメリットの妥協点を探るための話し合いが大切
- メリット・デメリットを総合的に判断してほしい
- とにかくちゃんと点検してほしいです。そして、私達が危険に巻き込まれることがないように普段から集中して取り組んでほしいです。
- GFC の 28 のターゲットの中で、安全で持続可能な農業の慣行の支援がとても重要だと思いました。持続可能な食糧生産について議論が深まるといいなと思います。

- 「PFAS」のニュースを見て、日本政府はアメリカ軍の基地や企業に忖度して、日本の未来を考えていないと思った。いろいろごまかしたり、いきあたりばつりの政策でなく、もっと早めから真剣に取り組んでほしい。
- 今の教育や報道状況は把握していないが当時は「化学物質」というワードと悪いイメージが過剰に結びついていたように思う。環境問題は事実ではあり、学ぶべきことではあるが何が問題だったのか正しく教え化学物質という単なる総称を便利に使わないでほしい。
- 言葉が難しく感じました。
- 様々な環境問題に対する政策を考える時に、海外の政策と比較すると思いますが、日本の自然環境の違いや企業努力も考慮に入れて欲しいと思います。また、巷の話題である太陽光パネルの敷設による環境破壊や山林の相続のあり方も今後議論の余地があるのではないかと考えます。
- 太陽光発電設備の、化学物質
- 生きるために必要だ。子供が社会に参加できる世界は本当にあるのか。環境問題を解決するだけではいい未来は来やしない。「子供には人権がない」友人談
- 市内には大きな工場があって、その工場のおかげで市の人口が増えたり、税収が増えたり、ときいている。それでも毎日何本もの煙突からもくもくと煙がでているのを見るのは気持ちよくはないな、と思う。
- 環境問題に疎い人もいるかもしれないが、SNSによって情報を得ることは簡単なので、若者＝環境問題に疎いなどと思わないでほしい。
- 海岸や海水浴場に落ちているゴミや海洋プラスチックごみのゴミ拾いしてる
- 化学物質は便利なようで、不便なもの。反対に不便なようで、便利なもの。重複しますが、人体に影響の出ない程度で、(きちんと、検証して)向き合わないといけないもの。存在したら、化学物質が云々と言われるが、存在しないと、現代人は生活に支障が出てくる。ベストアンサーが難しいです。
- 化学物質のことだけではありませんが、地球温暖化が急速に進む中で、今の対応だけでは不十分に感じて、これから将来がどうなってしまうのか不安です。
- 化学物質について、学校で教わることを日常生活にどう活かすことができるのか。根拠のないデマや憶測に正しく対応したり、自分が根拠を持って判断するにはどのようなことに目をつけて調べたりすべきか、学校教育の内容と実生活の繋がらなさを解消する考え方を知りたい。
- できるだけ化学物質が使われているものをつかわずにくらす
- ゴミを減らしたい
- よくわからない
- 特になし(19件。類似する記述を含む)

Q22. 「かんたん化学物質ガイド」などを読んで、化学物質の環境問題を解決したり問題が起
こらないようにするために、どのような取り組みが必要になると思いますか。また、か
だんから化学物質の環境問題に関する取り組みをしていたら、ぜひ教えてください。
(自由記述・任意回答)

- 今より厳重な法律
- 化学物質の環境・人への影響の問題に関する研究に対する投資を増やす。解決するためには因果関係を調べる努力をしてほしいです。特に PFAS については自治体と一緒にあって一刻も早く責任を追及してほしい。
- *Q21 の方でも書いているので重複になります。ほとんどの事業者の方はきちんと対策・処理されていると思うが、一部の不法投棄などを違法行為を行っている事業者は、しっかりと処罰をして社会的に不法投棄は NO という意識づけをすることが必要だと思う。また、環境問題は一部の人が努力したところで大きく変わるわけではないと思うので、より多くの国民に環境問題の存在や、そのために私たちができる身近な取り組みについて知ってもらい、社会全体で環境問題に取り組む意識が重要だと思う。そのためには、お得になるキャンペーンなど、一般市民が興味・関心を持つような魅力を感じるような取り組みが必要だと思う。家族で行っていることは、できるだけ無農薬の野菜を購入したり、家の車を電気自動車にしたりしている。
- 身の回りの化学物質について、もっと幼いときから知りたかった(小学 3、4 年生ぐらい)
- 情報を全部出すことが大事だし 理解できるように整理して 子どもにも伝えてほしい。まずは理解することだと思う。
- 化学物質が人間に与える利益と損失の境を、理解することが大切だと思う。
- どの会社のどの商品・どの工場で、どんな化学物質が使われているのかを解りやすく一覧にして表示するサイトを作ってほしい。
- 知識の普及、講演会など
- 前述の通り、正しく学ぶことが必要だと思うが、私含め、一般の人は正しく学ぼうとしていないのが正直なところだと思う。環境問題の前に、まずは化学物質、科学技術について正しく学ぶほうが先だと思う。科学リテラシーがないと、反ワクチンなどの誤った考えが出てきてしまうと思うので、環境問題以前にそのほうが危ないと思う。
- 私はどのようなことをしているか、無知、無関心でいたのでこれからこのことを知ること、関心を持って意識することを心がけたいです。
- その物質がどのような目的で使われるようになったものであり、どのように使えば安全なのかについて考えていくこと。
- 有害な化学物質を使わないようにし、排気ガスを出さず水素を燃料にして走行する燃料電池自動車などを推進していくべきだと思います。また、殺虫剤、農薬などの化学物質に頼りすぎないということも大事だと思います。無農薬の農産物を買う、殺虫剤を極力使わないということも消費者が気を付けなければいけないなと思いました。

- 適切に適量を使用することに限るのではないか
- 洗剤の化学物質が気になっていて、できるだけ自然派のものを使っていますが、汚れ落ちが悪いこともあって、化学物質を使っても環境負荷が少ない洗剤があればいいのと思っています。また、関心のない人の意識は簡単には変わらないものなので、商品が変わったり、制度が変わったりしていかなければならないのかなと思います。
- 常に先のことを考えて行動する
- 環境に悪い化学物質を使わない。化学物質が使われている製品の使い方に気をつける
- 化学物質をできるだけ出さないように意識することが大切だと思います。
- 化学物質の入った商品をできるだけ選ばないことで環境への影響を防ぐ
- 洗剤を使いすぎない。環境に優しい洗剤を使う。
- 当たり前なことにはなりますが、ゴミの分別。正しい使い方。
- 身近なことですが、ゴミの分別。
- それ以外の産業を考える
- 特にない

以上